

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

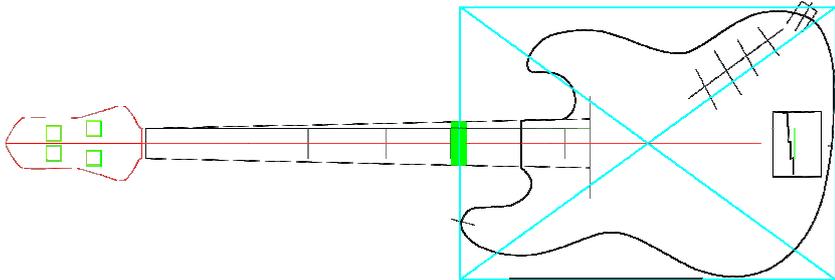
学校名	京都教育大学	個人・グループ名	今中 亮實	作品名	エレキベース
-----	--------	----------	-------	-----	--------

『製作の動機』

木材加工の実習において、自分自身で使える物を作りたいと思い、自分自身がエレキベースをしていることもあり、製作することにした。

『設計』

まず、エレキベースのボディには曲線が多用されているので、CADでの製図は難しかった。そのため、ベジェ曲線を使えるフリーソフトを用い、多くの写真を基に実寸での図を作成した。



フレットの距離については Excel でスケール(ネックの上からブリッジまで)の長さを入力すると、書くフレットの幅を計算できるものを作成した。



『工夫』

～トラスロッド～

ネックには強度のあるタモを使用した。また、更に補強するためネックにアジャスタブルトラスロッド(金属の棒でネックの反りを調節できるもの)を入れ、ネックのボディ側で調節できるようにした。ネックに埋める作業はフライス盤を用いて溝を彫り、調整部は少し大きいので、ノミを用いて手作業で彫り、指板で蓋をした。



アジャスタブルトラスロッド



調節部

～導電塗料～

ピックアップ(弦の振動を電気信号に変換する電子部品。)を入れる溝はフライス盤を用いて彫った。また、ピックアップは外来ノイズを拾ってしまうので、金属の箱に囲われている状態を作るために導電塗料を塗布した。



塗布前



塗布後